

令和4年度 学校評価報告書

島根県立松江工業高等学校 全日制課程

教育目標	(1) 学力を育む (2) 社会力を育む (3) 人間力を育む (4) 学校魅力化の推進
------	---

4段階評価	A	ほぼ出来た	3.2 以上
	B	概ね出来た	2.6~3.2
	C	やや不十分	2.0~2.6
	D	不十分	2.0 未満

アンケート調査結果(数値1~4で回答)の平均値による区分 ※0:わからないは除く (4:よく出来ている 3:大体出来ている 2:あまり出来ていない 1:出来ていない 0:わからない)

教育方針	重点目標 (学校(各部))	担当 分掌	学校評価質問項目	教職員 評価	生徒 評価	保護者 評価	自己評価		学校関係者評価		改善策
							評価 (昨年)	結果概評	コメント	評価 (昨年)	
(1)	学力の向上 (教務)	教務	補習授業や指導方法の改善を図る。	B 2.8	B 3.0	B 2.9	B (B)	資格試験・検定の指導については、各教科・学科による指導のもと成果を挙げることが出来ている。しかしながら、生徒の意欲向上についてはもう一つ考慮が必要に感じられる。学習面においても同様に生徒の学習に対する意識の向上を目指すとともに、意欲を引き出すことの出来る指導方法や授業改善が必要である。	資格検定の取得は、レベルに応じて全員合格が少数精鋭かの指導を分ける。 ・朝学習はとても大切な時間と思っています。ぜひ続けてほしい。 国家資格検定への挑戦とその成果についてはとても素晴らしい。	A (A)	資格試験については現状の通り各料の対応をお願いする。 ・学習面においては補習の時間が確保できるよう努める。
			資格・検定情報を提供し、取得のための指導を積極的に行う。	A 3.3	A 3.3	A 3.2					
	(2)	進路実現力の向上 (進路)	進路	「進路だより」等による地元企業の情報提供の充実を図る。	A 3.4	A 3.3	A 3.2	A (A)	進路だより(今年度12号まで発行)や2・3年生進路ガイダンス(10・6月)、2年生インターンシップ(11月)、1・2年生地元企業見学(11月~3月)などを実施し、地元企業の情報をより多く提供するよう努めた。生徒との個別面談、保護者を交えた三者面談については、機会を捉え適宜行っている。生徒個々のより良い進路実現のためには、生徒・保護者・教員間の更なる連携が必要と考えている。	発言力、発表力が身につくように授業の工夫や、定期的な発表会の実施をする。 ・進路決定に向けての取り組みで、個人面接、三者面談が適切に行われ、地元企業の情報も多く提供され良いと思う。 ・インターンシップについての生徒の希望をコーディネーターに委託する等、生徒の進路希望に沿う取り組みにした方がよい。	B (A)
個別面談・三者面談の充実を図る。				B 3.0	A 3.3	B 3.0					
(3)	体験活動の推進	生徒	ボランティア活動や地域交流活動への参加を図る。	B 2.8	C 2.1	B 3.1	B (B)	地域交流活動への参加については、課題研究等を通じて公民館等への連携を図ることができ、生徒の自己評価も高い。これに対しボランティア活動に対しては、こちらからの案内・周知方法の改善を図り、ボランティア活動への意識向上に繋げたい。	なるべく多くの生徒が様々な地域交流活動やボランティア活動を体験できる体制づくりを。 ・地域との連携や協働しての活動がなされており、体験ができた事を活かして進んでほしい。 ・目的を明確に、目的の共有をされた方がよい。	B (B)	これまで以上にクラスへの周知を徹底していく。その際、単なる連絡・掲示で終わらないようボランティアの意義等を担任から説明してもらおう。行動基準が損得で判断する生徒は多いと思われるが、異なる行動基準があることに気づかせたい。
			学校生活における礼節とマナーの定着を図る。	A 3.3	A 3.2	A 3.1					
			積極的な挨拶の定着を図る。	A 3.4	A 3.4						
(3)	部活動の推進	生徒	部活動を奨励し、健全な心身の育成を図る。	A 3.3	A 3.3	A 3.2	A (A)	コロナ禍ではあったがコロナ感染防止対策を徹底し、全体的には充実した活動ができた。また、保護者の理解・協力が有り支援していただいたことに感謝する。	指導が行き届かない場所、場面で、マナーを守る意識を育成する。 ・日頃の指導の成果で、服装等も問題ない。気持ちのよい挨拶が返ってきます。 ・進んであいさつできる生徒が多い。	A (A)	今後も生徒や保護者が納得できる指導を心がけていく。今年度末に頭髪規定を変更した。求められている頭髪・服装とはどのようなものなのか、自己都合的な考えだけでなく、大きな視点で考えられる様に支援していく。
			校内研修等で得た情報や知識を常に心がけ、人権に配慮した発言・指導を行う。	B 3.0	A 3.3	B 3.0					
			教育相談活動の充実(保健)	A 3.2	A 3.2	B 3.1					
(4)	校内活動の広報活発化 (総務)	総務	HP・広報活動が十分に行われている。	B 3.0		B 3.1	B (B)	普段は行事予定の配布を行っていた緊急メールが、休校対応ではとても役に立った。HPは行事ごとに更新し、各料からの情報提供も多くあり盛んに発信できており、現時点では十分に役目を果たしていると思える。今後はどのようなニーズがあるかを考えていくことで評価の改善に努めていきたい。	学校以外の人には情報量が少ないHPだと感じるので充実を図る。 ・緊急メールの活用が昨年より良くなっている。HPIについては情報発信がされており良い。 ・HPはいつも拝見しています。部活動の活躍などうれしく思います。	A (A)	行事や部活報告などは盛んに更新が進んでいるが、内容の足りない部分はどこにあるかを全体構成の中から考え、充実に努めていこうにしたい。
			HPや緊急メールにより緊急情報が適切に連絡されている。	B 3.1		A 3.4					
			ICT機器の活用推進	B 3.0	B 3.1	B 3.2					
(4)	新型コロナウイルス感染症に対する適切な対応	教務	積極的にICT機器を使った授業等に取り組んでいる。	B 3.0	B 3.1	B 3.2	B (B)	ICT機器を使った授業についてはまだまだ手探りの部分が多く、導入状況が教員個人のスキルに大きく依存しており、普及状況に差が出ている。円滑な利用方法について教員・生徒共に更なる研修が必要であるが、時間の確保・内容等についても課題が多くある。コロナ禍下においてリモート学習にも備えたが、充実した活用には至っていない。有意義な活用となるよう更なる検討が必要である。	ICT機器を必要ときに活用するという意識と技術を教員、生徒ともに身につけてほしい。 ・ICT機器を使った授業はよく考えて行われていると思う。これからは教員、生徒の取り組み方に期待する。学習指導は良く対応されていると思う。	A (A)	・ICTを使った研修を主幹教諭と協力して計画をしたい。 ・リモート学習については他校等の事例を取り入れながら各教員のスキル向上をはかっていきたい。
			コロナ禍による学習指導が適切に行われている。	B 3.0	A 3.3	B 3.2					